

SPARC Japan セミナー2023

「即時OAに備えて:論文・データを「つかってもらう」ためのライセンス再入門」

オープンアクセスとライセンスに関する 出版社の見解

Victoria Eva

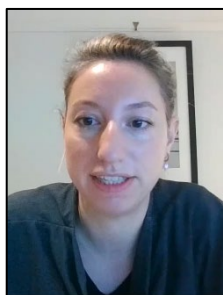
(Elsevier)

講演要旨



研究者や研究機関が研究を発表する際に、特にオープンアクセスの選択肢を検討するにあたり考慮すべきことの概要を提供し、オープンアクセスのモデルに関する簡単な説明と背景、ライセンスが適合する場所とその理由、オープンアクセスのモデルとライセンスに対するポリシーの影響について出版社の見解を説明します。

Victoria Eva



エルゼビアのGlobal PolicyおよびIndustry Relations上級副社長として、研究成果へのアクセスに関するエルゼビアの政策と戦略を管理し、オープンサイエンスに関連するグローバルな政策と立法問題について調整する責任を負っている。所属するチームとしては業界団体や会員団体を通じて出版業界におけるElsevierのパートナーシップを管理し、調整している。政策、出版、コミュニケーションのバックグラウンドを持っており、2018年にエルゼビアに入社前は、教育出版社ピアソンで政策を管理していた。これまでの職務には、業界団体である出版社協会のコミュニケーション責任者、メディアと著作権に関する法律事務所を専門とするパブリック・リレーションズ・コンサルタントとしてのアカウントの管理業務が含まれる。

私は Elsevier のグローバル・ポリシーおよび産業関係の上級副社長です。本日はオープンサイエンスについて、特にオープンアクセスやライセンスなどの問題について、出版社の視点からお話しします。

Elsevier の使命

Elsevier の概要を簡単にご説明します。私たちの使命は、研究者や医療従事者が社会の利益のために科学を進歩させ、健康成果を向上させることへの支援です。グローバルな研究と健康のエコシステム全体にわたって、お客さまの見識を高め重要な意思決定を促進することによって、これを実現します。研究者、医療専門家、機関、資金提供者を含む研究コミュニティにとって価値があることを保証するために、私たちが出版す

る全てのものにおいて最高水準の品質と完全性を維持・保証しています。

オープンサイエンスを支える柱

では、詳細に入る前に、オープンサイエンスに関する文脈と背景を見てみましょう。オープンサイエンスとは何でしょうか。図1のように、ここではオープンサイエンスの全体構造を支えるさまざまな柱を持つ家をイメージしています。オープンサイエンスを包括的かつ協力的で、透明性のある研究を行う方法として捉えています。しかしこれは、オープンアクセスや研究データ、研究データの共有などのオープンサイエンスの柱や要素によって支えられなければなりません。

本日はそれらの柱を中心にお話ししますが、責任あ

る研究評価のためのオープンな指標、社会的利益のためにより広い社会の研究へのアクセスを支援することについてもお話しします。また、オープンエコシステムをサポートするツールやソフトウェア、インフラストラクチャについてもご説明します。オープンサイエンスが多くの異なる要素によって構成されていることをご理解いただければ幸いです。このプレゼンテーションでは、そのうちのごく一部に焦点を当てています。

オープンアクセスの重要な定義

具体的な話に先立って、オープンアクセスの定義を幾つか挙げたいと思います (図 2)。これが本日も話しすることの核心であり、Elsevier や他のほとんどの出版社が運営するオープンアクセスの二つの形態です。

一つ目はゴールド OA です。これは、研究論文の最終版に、誰もがすぐに自由にアクセスできるようにするための出版モデルです。ゴールド OA を定義するもう一つの重要な要素は、最終版の論文がクリエイティブ・コモンズ (CC) とユーザーライセンスの下で利用可能になるべきことです。

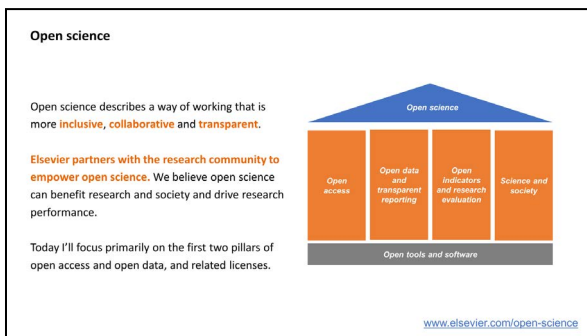
CC ライセンスは、読者やユーザーなど論文を再利用したいと考える第三者に対して、その論文をどのように共有できるかについて極めて明確な言葉で情報と説明を提供するため、非常に重要です。つまり、ゴールド OA は、研究を利用可能にするだけでなく、コンテンツの著者とユーザーの両方をサポートするために研究を共有し再利用する方法を明確にすることで、オープン性を確保しています。このゴールド OA の下では、論文出版加工料 (APC: article processing charge)

によって出版コストが事前に回収されます。

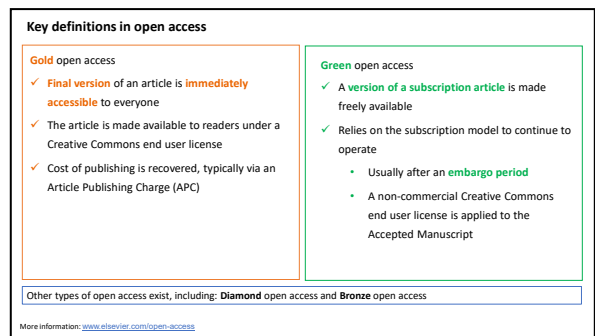
二つ目はグリーン OA です。グリーン OA とゴールド OA の間には、明確な違いがあります。グリーン OA はゴールド OA のような出版モデルではなく、購読モデルから派生したものです。著者は購読モデルで出版することを選択でき、ゴールド OA のように出版のための料金を支払うことはありません。

しかし、著者たちは研究論文を無料で共有したいと考えるかもしれません。出版社としては、購読モデルの持続可能性と実行可能性を確保し、そのバランスを取る必要があります。また、購読者以外の誰もがコンテンツを自由に利用できるようにすると、購読モデルが損なわれます。私たちは、研究者が自らの研究を自由に共有したいと思いつつも、何らかの理由でオープンアクセス出版を選択しない可能性があることを理解した上で、バランスを取りたいと考えています。

この状況では、グリーン OA というルートを使用することができ、著者は購読モデルで出版し、その購読論文の前のバージョンを自由に利用できるようになります。前のバージョンは査読を経た「accepted manuscript」と呼ばれるもので、最終的な編集と変更が加えられた最終バージョンではありません。ただしこの accepted manuscript は、著者自身がアーカイブすること、リポジトリに入れて購読者以外の誰もが利用できるようにすることは可能です。私たちは、エンバゴと呼ぶ一定の期間の後にこれを行うことを求めています。これにより、購読者が最初に最終論文にアクセスできるように購読モデルが機能します。また、私たちは購読モデルの実行可能性を支援するために、非商用、非派生



(図 1)



(図 2)

的な CC ライセンスを accepted manuscript に適用することを求めています。

オープンアクセスには他の種類もあります。ダイヤモンド OA やブロンズ OA について聞いたことがあるかもしれませんが、今回は触れません。

著者が保持する権利

出版プロセスについて再び深く掘り下げ、できれば幾つかの誤解を払拭したいと思います（図 3）。特に著者がオープンアクセスや購読モデルで出版した場合に何が起こるのか、それが著者の権利にとって何を意味するのかについてお話しします。

ここで明確にしておきたいのは、著者がオープンアクセスや購読モデルでの出版を選択した場合、自身の研究成果を共有し、広め、その影響を最大化するための多くの権利を保持するということです。著者は他の出版社でも似たような経験をすると思いますが、ここで私は Elsevier の視点からお話ししているということを念のためお伝えします。

明らかなことは、著者がオープンアクセスで出版した場合、著作権は保持されることです。また、著者は最終的な論文に適用する CC ライセンスの選択権が与えられ、無料ですぐに利用可能となります。私たちはその選択があるということが重要だと信じています。

著者が自身のコンテンツをどのように再利用・共有するかについて特定の選好を持っていることは、調査からも常に見えています。何らかの目的のために完全な再利用と共有を望む人もいれば、商業目的ではない再利用と共有を望む人もいます。CC ライセンスは、

そのような選択を反映するもので、私たちが CC ライセンスを提供している理由でもあります。

購読モデルでは、著者は出版社に著作権を譲渡します。そして、購読論文のあるバージョンを無料で利用できるようにしたい場合は、グリーン OA が使用できます。しかし、誤解を払拭するために繰り返しますが、著者がどの出版モデルを選択したかにかかわらず、彼らは依然としてその論文を共有する多くの権利を持っています。

これには適切な帰属やクレジットを受け取る権利、許可や当社からの支払いなしで新しい研究に自身の素材を再利用する権利などが含まれます。研究の集大成として論文を一つの書籍にまとめることもできます。他の著作物からの抜粋や図表を再利用することもできます。さらに、他の著作物の一部や抜粋、図・表を再利用することができますし、授業での教育目的や個人的な使用、共同研究の一部を含む学術目的のために、自身の著作物を使用・共有することができます。もちろんプレプリントを公に共有することもできます。これらの権利を著者が保持できないという情報が広まっているようですので、ここで明確にしたいと思います。ぜひ当社の Web サイトを確認して、著者の権利について完全な情報を得ていただくことをお勧めします。

研究データに関しては、著者は共有する権利を保有します。彼らはデータを共有するライセンスの選択に絶対的な柔軟性を持っており、それは選択する出版モデルとは無関係です。

また、テキストとデータマイニングについても少し触れます。私たちはライセンスベースのアプローチを採用し、購読機関の研究者が自動的に非商業目的でテキストマイニングができるようにしましたが、非購読者にももちろん許可を与えています。この事実にも留意することが重要です。繰り返になりますが、当社のテキストとデータマイニングポリシーをご覧ください。情報量が多いことは理解していますが、これらの情報を全て Web サイトで提供しています。著者は、私たちに論文原稿を投稿すると、ワークフローの中で彼

Some specifics in publishing

- Regardless of whether authors choose to publish **open access** or **subscription** with Elsevier, they have many of the same rights, which support their need to share, disseminate and maximize the impact of their research.
 - **Open access:** author retains copyright. Authors have a choice of Creative Commons license
 - **Subscription:** author transfers copyright to the publisher. Green open access route can be used
- Authors retain rights to share their **research data**. They have flexibility on their choice of licenses to share research data
- We have adopted a license-based approach that **automatically enables researchers** at subscribing institutions to **text mine** for non-commercial research purposes and to gain access to full-text content in XML for this purpose. We will also provide permissions for **non-subscribers**.
- We provide information to authors about their rights and license choices:
 - On our policy pages on Elsevier.com
 - Authors are advised about their choices when they are taken through the workflow to submit their article

Author rights to the article - open access or subscription:

- Receive proper attribution and credit for their published work
- Re-use their own material in new works without permission or payment by:
 - Extending an article to book length
 - Including an article in a subsequent compilation of their own work
 - Re-using portions, excerpts, and their own figures or tables in other works
- Use and share their works for scholarly purposes, including for classroom teaching, in conferences, distributing article for general use, and an imitation-only work group
- Publicly share the preprint anywhere at any time

More information: <https://www.elsevier.com/about/policies/copyright>

(図 3)

らの選択に関する多くのアドバイスや情報が与えられることとなります。今一度ご確認ください幸いです。

混在するさまざまなポリシー

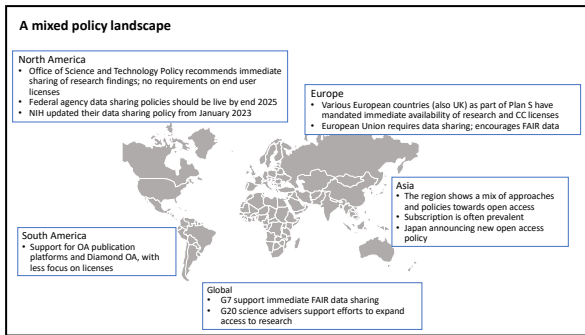
ここで視野を広げ、より広いグローバルな政策の文脈について考えてみましょう。オープンアクセスやライセンス等、ここで話している要素についてはかなり複雑な政策が取られています。ここで言うべきことは、異なるタイプの政策が実際に混在しているということです。世界の全ての地域で同じ政策が存在しているわけではありません。

世界で起きていることの網羅的なリストではありませんが、図4では、国により政策にさまざまな違いがあることがわかります。また、研究への即時アクセスを求める資金提供者の政策など、新たな傾向が現れていることも指摘したいと思います。

北米においては、米国大統領府科学技術政策局 (OSTP) が研究成果の即時共有を推奨しています。また、米国最大の連邦機関の一つでも、研究データの共有と管理を確実に行うことに焦点を当てています。

英国も含め欧州の国々では、さまざまな資金提供者が研究への即時アクセスを必要とし、研究論文に適用する CC ライセンスの種類についても明確な規定を持っています。

南米では、非常に異なるダイヤモンドモデルに焦点を当てています。これは、著者がお金を払って出版したりたくさんの論文を読んだりせず、リポジトリに預けられていることです。



(図4)

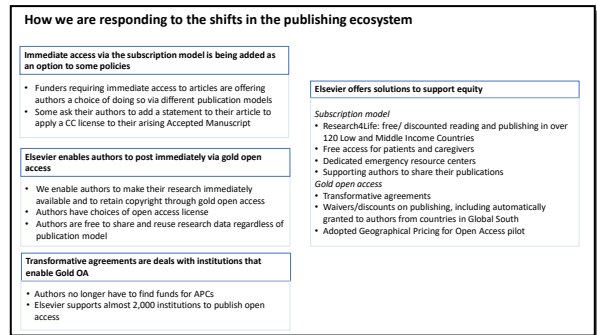
さまざまな国を一括りにまとめて申し訳ありませんが、アジアでは、出版に向けた政策やアプローチが実に混在しています。依然として購読モデルに焦点が当てられていますが、日本は即時性を重視した新しいオープンアクセスの方針を発表しています。そして世界的には、研究と研究データへのアクセスを増やす努力に真の焦点が当てられています。

出版エコシステムの変化への Elsevier の対応

最後に、出版エコシステムにおけるこのような政策エコシステムの変化に対して Elsevier がどのように対応しているかについて触れたいと思います (図5)。先ほどご説明したように、著者がどの出版モデルを選択したかにかかわらず、研究への即時アクセスを必要とする政策が増えています。また、著者の権利保持や、原稿投稿の段階で特定の CC ライセンスやエンド・ユーザー・ライセンスを著者が適用することにも焦点を当てることができます。これらに対する私たちの明確な返答は、Elsevier はゴールド OA を通して著者が研究をすぐに公開できるようにするということです。これが研究への即時アクセスを保証するための持続可能で拡張可能なメカニズムであると私たちは考えています。

ゴールド OA の下では著者が著作権を保持しているため、権利の問題はなく、エンド・ユーザー・ライセンスに関する選択肢を持っています。また、出版モデルに関係なく、必要に応じて研究データを共有することもできます。

Elsevier が実際にオープンアクセスをサポートしているという事実に焦点を当てることが非常に重要です。



(図5)

私たちは 750 以上のフルゴールド OA 誌を持っています。また、さまざまな範囲の転換契約もあり、これらはオープンアクセスの目標を実現するために機関との間で締結した商業協定です。購読および出版契約、複合契約など、多くの名前がありますが、全体として 2,000 近くの機関に対し、協定を通じて OA 出版ができるようサポートしています。つまり、持続可能かつ拡張性のある方法でゴールド OA モデルをサポートしており、今後出てくるであろう方針の要件も満たすことができるということです。

公平性について簡単にご説明したいと思います。公平性は、出版モデル、つまり購読モデルとゴールド OA、いずれにおいてもよく語られるポイントだからです。購読モデルについては、人々は研究へのアクセス面での公平性を求めます。ゴールド OA の下では、価格とそのゴールド OA モデルへのアクセスにおいて公平性を見たいと考えます。

購読モデルについて、私たちは COVID-19 危機のような緊急事態の際に、緊急リソースセンターの一部として機能する、グローバルサウスの国々や患者・介護者が購読論文に無料アクセスすることを支援する広範なイニシアチブを持っています。また、先ほどご説明したように、Share Links などのさまざまなイニシアチブを通じて、著者が購読論文を共有することを確実に支援しています。

ゴールド OA では、著者がゴールド OA モデルを選択する手段を確保するため、著者からコスト負担を軽減するための転換的な契約を提供しています。日本にも大学図書館コンソーシアム連合 (Japan Alliance of University Library Consortia for E-Resources : JUSTICE) を通じて提案があることをうれしく思います。また私たちは、グローバルサウスの多くの著者に自動的に適用される、免除と割引の大規模なイニシアチブを持っています。グローバルサウスを含む国々において論文出版料金の公正さを保証するため、新しい地理的な価格設定のパイロット版を採用したことを誇りに思っています。

オープンアクセスと OA 出版をする著者への支援策について、私たちの取り組みを少しでもご理解いただければうれしく思います。本日の話がお役に立てば幸いです。